

令和7年度 学校経営の概要

1 学校経営に当たって

(1) 地域の実態

本校は由利本荘市中心部から東へ約10kmの位置にあり、学区内には子吉川の支流である芋川が流れ、北側・南側を山々に囲まれた農村地域に位置している。近隣には国道105号線、大内ジャンクション、道の駅があり、交通量も多い地域である。

地域住民の多くは地元企業や本荘地域の企業等に勤め、高齢者は農業に従事している。保護者は学校の活動に協力的で、PTA活動や奉仕作業にも積極的に参加している。また、地域住民も学校教育への関心が高く、クラブ活動や安全・安心見守り隊、スポーツ少年団などへの支援を惜しまない。地域全体で子どもたちの安全と成長を見守る意識が高いことから、コミュニティ・スクールや地域協働活動事業を活用し、地域に開かれた学校づくりを推進している。

(2) 児童の実態

全校児童数は135名（男子75名、女子60名）であり、通常学級6学級、特別支援学級2学級の計8学級で編制されている。

生活面では、明るく元気に活動する児童が多く、始業前や休み時間には性別・学年を超えて活発に遊ぶ姿が見られる。係活動や児童会活動にも責任感をもって取り組み、縦割り活動では上級生が下級生に優しく接する様子が見られる。一方で、目標に向かって努力したり、失敗を恐れず挑戦したりする主体的な姿勢は十分とは言えない。また、相手の気持ちに配慮しない言動によるトラブルも散見され、よりよい人間関係を築く態度の育成が課題となっている。

学習面では、県学習状況調査や標準学力検査（CRT）の結果から、県平均や全国平均を上回る学年がある一方、平均を大きく下回る学年も見られ、学年差・個人差が大きい状況である。課題への取組は真面目であるが、主体的に考え、判断し、表現する力には課題がある。また、特別な支援を必要とする児童の割合も高く、きめ細かな支援と配慮が必要である。

(3) 学校の課題と取組

①主体的な児童の育成

本校児童の課題として、自ら目標に向かって努力する力や失敗を恐れず挑戦しようとする姿勢が十分とは言えない。この課題を踏まえ、学校教育目標を今年度「自律」と改めた。

学習面では、児童一人ひとりが安心して学び、学びの充実を図るため、生徒指導の視点を生かした授業づくりを推進する。また、「アウトプット」「自己決定」「協働」に重点を置いた授業改善に取り組み、学ぶ楽しさや意義を実感できる楽しい授業づくりを通じて、主体的に学ぶ子どもを育てていく。活動面では、成長するためには失敗や間違いは絶対に必要であること、児童に対して手をかけ過ぎず、目をしっかりかけることについて共通理解を図るとともに、安心してチャレンジしたり、やり直したりすることのできる環境づくりに努め、児童を支えていく。

②特別支援教育の充実

通常の学級にも特別な支援を必要とする児童が多く在籍していることから、特別支援教育の充実が重要な課題となっている。ユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、必要な指導や支援を的確に行うことができるように、特別支援教育に関する教職員研修を推進する。また、特別支援教育アドバイザーのほか、保育園や支援学校、SSW等との連携を強化する。さらに、児童同士が互いの個性を認め合い、支え合うことができるような学級経営や授業づくりを推進していく。

③教職員の働き方改革の推進

本校には時間外在校等時間が月45時間を超える教職員が一定数存在している。県の「教職員の働き方改革推進計画」では、学校における働き方改革の目的の一つに、教員が授業を磨くための学びの時間の確保等が図られることで、教育の質を向上させることが示されている。教職員がゆとりをもって、気持ちよく働くことのできる職場環境づくりが、子どもたちのよりよい教育につながるとの認識のもと、教職員の率直な声に耳を傾けながら、前例や固定観念等にとらわれることなく業務改善を図るなど、柔軟な姿勢で働き方改革を推進していく。

2 学校教育目標と目指す子どもの姿

(1) 学校教育目標

自律 ~いきいき わくわく やさしく~

「自律」を、自ら考え、判断し、行動する力と捉える。

将来の予測が困難な時代を生きる子どもたちには、自分で課題を見つけ、その解決のために方法を考え、主体的に取り組む力が求められる。この「自ら考え、判断し、行動する力」いわゆる「自律」を、「いきいき」「わくわく」「やさしく」の3つの柱を通じて育む。

(2) めざす子どもの姿

【いきいき】 ⇒ 自律した生き方ができる子ども

自分の考えに基づいて行動し、困難を乗り越えるしなやかな心をもつ子ども

【わくわく】 ⇒ 自律した学びができる子ども

学ぶ意義を理解し、主体的に取り組む姿勢をもちながら、自分に合った方法で学びを深めていく子ども

【やさしく】 ⇒ 自律した関わりができる子ども

他者の気持ちや状況を理解し、相手を尊重しながら自分の考えを伝え、協働できる子ども

3 経営の重点

生徒指導の視点を生かした教育活動の推進（共通理解・共通実践）

(1) いきいき（成長保障）⇒ 子どもたちの成長を支える教育環境の整備

- ・子どもの心理的安心感を保障する「居場所づくり」の推進（自己肯定感・自己有用感の醸成）
- ・子どもの小さな成長や努力を見逃さず、ポジティブな声かけや安心感をもたせる対応
- ・日常的に自己決定の場を提供し、挑戦を歓迎する文化の醸成
- ・保育園・小・中学校との効果的な連携による成長を連続的に捉えた指導
- ・コミュニティ・スクール機能を生かした開かれた学校づくりと家庭や地域との協働

(2) わくわく（学力保障）⇒ 子どもたちの主体性を育む授業改善

- ・「アウトプット」「自己決定」「協働」を授業改善の視点とした、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり（生徒指導の視点を生かした授業づくり）
- ・自ら計画を立てて学ぶ「さわやかタイム」への取組強化
- ・授業における国や県の調査問題、単元評価問題等の効果的な活用
- ・特別支援学級と通常の学級に在籍する支援を要する子どもへの適切な指導

(3) やさしく（満足保障）⇒ 心豊かな人間関係の構築

- ・望ましい人間関係の構築に向けた指導・支援の充実（日常的に「ありがとう」「ごめんなさい」を自然に伝えられる雰囲気醸成、トラブルを学びに変える指導）
- ・子ども同士が共感的な人間関係を築けるような、対話や協働の機会の充実
- ・相手や場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着
- ・全教育活動を通じた道徳教育の充実（道徳科の授業づくり、規範意識の向上他）
- ・家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成

(4) 教職員の役割と支援体制の強化

- ・「伴走型支援」を基本に、子どもたちの主体性を尊重しながら必要なサポートを実施
- ・授業改善や教職員の専門性向上のための研修会を実施
- ・ゆるやかなチーム担任制による情報共有の徹底と教職員間の連携強化
- ・「いじめ防止基本方針」の周知徹底（未然防止、早期発見、即時対応、丁寧な見守り）
- ・保護者との教育相談の充実とSSW等の外部機関等との連携強化

(5) 働き方改革の推進

- ・仕事の効率化、業務分担の見直し、意識的な業務改善
- ・先を見通した働き方、時間を意識した働き方

※遅くても18時30分には退勤

※1か月の平均時間外在校等時間（持ち帰り仕事時間を含む）45時間以下

学校経営の方針

秋田県学校教育の指針

豊かな人間性を育む
学校教育

- 1 思いやりの心を育てる
- 2 心と体を鍛える
- 3 基礎学力の向上を図る
- 4 教師の力を高める

保護者や地域とともに歩み、信頼される学校づくり

- 1 いきいきと挑戦できる学校 (成長保障)
- 2 わくわく学べる学校 (学力保障)
- 3 やさしく安心感のある学校 (満足保障)

由利本荘市の学校教育

人間性豊かで進取の気性に富むたくましい子供の育成

～科学的な探究心を育み、確かな学力を身に付けさせる教育の推進～

学校教育目標

自律 ～いきいき わくわく やさしく～

目指す子どもの姿

◎いきいき

⇒自律した生き方ができる子ども

- ・自分の考えに基づいて行動し、困難を乗り越えるしなやかな心をもつ子ども

◎わくわく

⇒自律した学びができる子ども

- ・学ぶ意義を理解し、主体的に取り組む姿勢をもちながら、自分に合った方法で学びを深めていく子ども

◎やさしく

⇒自律した関わりができる子ども

- ・他者の気持ちや状況を理解し、相手を尊重しながら自分の考えを伝え、協働できる子ども

令和7年度の重点

生徒指導の視点を生かした教育活動の推進(共通理解・共通実践)

☆成長保障～子どもたちの成長を支える教育環境の整備

- ・子どもの心理的安心感を保障する「居場所づくり」の推進
(自己肯定感・自己有用感の醸成)
- ・子どもの小さな成長や努力を見逃さず、ポジティブな声かけや安心感をもたせる対応
- ・日常的に自己決定の場を提供し、挑戦を歓迎する文化の醸成
- ・保育園・小・中学校との効果的な連携による成長を連続的に捉えた指導
- ・コミュニティ・スクール機能を生かした開かれた学校づくりと家庭や地域との協働

☆学力保障～子どもたちの主体性を育む授業改善

- ・「アウトプット」「自己決定」「協働」を授業改善の視点とした、学ぶ楽しさを実感できる授業づくり(生徒指導の視点を生かした授業づくり)
- ・自ら計画を立てて学ぶ「さわやかタイム」への取組強化
- ・授業における国や県の調査問題、単元評価問題等の効果的な活用
- ・特別支援学級と通常の学級に在籍する支援を要する子どもへの適切な指導

☆満足保障～心豊かな人間関係の構築

- ・日常的に「ありがとう」「ごめんなさい」を自然に伝えられる雰囲気醸成
- ・子ども同士が共感的な人間関係を築けるような、対話や協働の機会の充実
- ・相手や場に応じたあいさつや返事、反応、言葉遣いの定着
- ・全教育活動を通じた道徳教育の充実(道徳科への取組、規範意識の向上他)
- ・家庭・地域との効果的な連携による人間関係形成・社会形成能力の育成

授業改善のテーマ

主体的に学ぶ子どもの育成

岩谷小学校の教員として(一校一心)

- 1 子どもの自律を支え、心に寄り添いながら成長に導く教師
- 2 地域とともに歩み、保護者・地域から信頼される教師
- 3 学びをデザインし、子どもの主体性を引き出す授業づくりができる教師
- 4 子どもとともに歩み、成長の喜びを分かち合える教師
- 5 教員としての使命感と自覚をもち、健やかに専門性を磨き続ける教師

生徒指導の視点を生かした授業づくり

段階	主な学習活動	生徒指導の視点を生かした教師の支援のポイント
導入	○課題設定 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・教材提示の工夫 ・発問の工夫 </div>	●自己決定の場の提供 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・興味や関心を高め、子どもの学習意欲を喚起する問題提示や事象提示の工夫をする。 ・多様な考えや思考のズレを生むような発問を工夫する。 ・子どもの問いを生かし、自分事として捉えることのできるような課題設定のしかたを工夫する。 </div>
展開	○課題追究・課題解決 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・自力思考 ・ペア、グループ学習 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ← 思考力・判断力・表現力 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ← 学びに向かう力・人間性 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ・全体で学び合い </div>	●自己決定の場の提供 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・結果の見通しや解決方法の見通しをもつことのできる場や時間を設定する。 ・考えたり見たりする際の視点を具体的に示す。 ・解決方法に応じて学習形態等を選択できるようにする。 ・教科書のほか、図書資料、ICT等を効果的に活用できるようにする。 ・個に応じた支援や助言のしかたを工夫し、準備する。 ・考えや思いを、言葉や式、図、絵等で自分なりに表現できるようにする。 </div> ●自己存在感の感受/●共感的な人間関係の育成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・ネームプレート等を活用し、一人一人の考えを尊重しながら学び合いに生かすようにする。 ・友達の考えと比較しながら自分の考えを発表したり、関連付けたりできるようにする。 ・机間指導を通して、子どもの考え等を見取り、意図的指名に生かす。 ・一人一人の反応やつぶやき、誤答を生かして学びが深まるようにする。 ・子どもの考えを最後までしっかりと聞き、受け止める。 ・相互に説明したり、評価したり活動を取り入れ、お互いのよさに気付くことができるようにする。 </div>
終末	○振り返り <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px; text-align: center;"> ← 知識・技能 ← 学びに向かう力・人間性 </div>	●自己存在感の感受/●共感的な人間関係の育成 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px;"> ・振り返りの視点を明確に示し、本時の学んだことを自覚できるようにする。 ・意図的指名を活用し、学びの変容を実感できるようにする。 </div>

●共感的な人間関係を育成する。

聴き合う

- ・話し終わるまでしっかりと聞く。
- ・異なる考えも理解して聞こうとする。
- ・発言をつなぐ。

↑

← **学びに向かう力**

↑

互いに教え合い

↓

励まし合う

↑

●安心・安全な風土を醸成する。

認め合う

- ・間違えた答えでも笑わない。
- ・うなずきながら聞く。(拍手)
- ・友達のよさを見つけ、認める。
- ・相手の立場や気持ちを考える。

教師の姿勢
【発達支持的生徒指導】

- ・一人ひとりを受け入れて褒める。
- ・称揚、激励、意義付け、意味付けを行う。
- ・価値ある行為(もの)を創り上げたことを共に喜ぶ
- ・友達をからかったりルールを守らなかったりする姿を正す。
- ・机の整理整頓をする。

- ・受容的な態度で接する。
- ・教師の自己開示を行う。
- ・学びに向かうよい姿を褒める。
- ・子どもの考えを言い換えたりつなげたりして寄り添う。
- ・子どもの考えや行動から学ぶ。